

# 社会资本総合整備計画 事後評価書

令和7年12月26日

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画（その3）（重点計画）		
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）	交付対象	泉佐野市
計画の目標	<p>・下水道整備を計画的に行い、市民にとって快適で衛生的な生活ができるまちづくりを目指す。</p>		
番号	<p>計画の成果目標（定量的指標）</p> <p>定量的指標の定義及び算定式</p>		
1	<p>・下水道処理人口普及率を40.9%（R2年度当初）から44.9%（R6年度末）に増加させる。</p> <p>下水道処理人口普及率（%） ＝（下水道を利用できる人口（人）／住民基本台帳人口（人）） × 100</p> <p>※住民基本台帳人口：平成31年3月31日現在 100,596人</p>		
全体事業費	計画 実績 (A+B+C)	合計 7,648百万円 3,945百万円	A B C 20百万円 55百万円 効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 0.26% 1.40%

事後評価

### ○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 令和7年12月～令和8年1月
泉佐野市において策定した「事後評価方針」に基づき、令和7年12月9日の上下水道局内審議において定量的指標の達成状況、事業効果の発現状況などを検証するとともに、令和7年12月26日～令和8年1月15日までの間、パブリックコメントを実施し、第三者の意見を広く求めることにより、今後の整備方針を検討することとした。	公表の方法 泉佐野市のホームページ上で公表

## 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業				B 地域活性化事業													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											R02	R03	R04	R05	R06		
A07-001	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	管渠(污水)	新設	湾岸中部処理区 污水管渠整備事業	汚水管渠 $\phi=200\sim400\text{mm}$ 、L=20km、実施設計	泉佐野市	■	■	■	■	■	7,628	計画実施
											■	■	■	■	■	3,890	

## B 関連社会資本整備事業

## C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											R02	R03	R04	R05	R06		
C07-001	下水道	一般	泉佐野市	間接	個人	一	新設	水洗便所改造奨励金交付事業	交付金5万円×400件	泉佐野市	■	■	■	■	■	20	計画
											■	■	■	■	■	55	実施

水洗便所改造奨励金を交付することにより下水道利用を促進し、事業効果拡大を図る。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

- I 定量的指標に関する  
交付対象事業の効果の発現状況

  - ・良好な水環境の保全に資する事業として計画的かつ効率的な下水道整備区域の拡大を行い、下水道処理人口普及率を40.8%（R1年度末）から46.8%（R6年度末）に増加させることにより、公共用水域の水質保全が図られた。
  - ・下水道利用を促進することによる「生活環境の改善」や「公共用水域の水質保全」などの事業効果の早期発現によって、将来にわたり快適に暮らせるまちづくりに寄与することができた。

II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道処理人口 普及率	最終目標値	44.9%	目標値と実績値 に差が出た要因	本整備計画対象事業のほか、早期の普及促進に必要な事業として市単独事業など、他の整備すべき路線整備を進めたことにより、目標値を上回る整備となつた。
		最終実績値	46.8%		

### 3. 特記事項（今後の方針等）

令和2年度から令和6年度までの5年間の社会資本総合整備計画に基づく下水道事業を実施し、定量的指標（下水道処理人口普及率）は目標を達成することができた。今後は、本市の汚水整備状況及び経営状況に鑑み、更なる計画的、効率的な汚水整備による普及促進に努め、「生活環境の改善」・「公共用水域の水質保全」などの事業効果の早期発現を図り、快適で衛生的なまちづくりの推進に取り組んでいくものとする。